

福岡市における コンビニ交付の取り組み

平成28年8月4日
地方公共団体情報システム機構
コンビニ交付推進セミナー福岡会場

福岡市市民局総務部区政課
指導係長 安河内 和文

福岡市の概要

2

福岡市の概要

福岡市は福岡県の北西部に位置し、面積343.38 km²、人口1,550,627人・776,032世帯が暮らす、政令指定都市です(平成28年7月1日現在)。

市章

現在の福岡市章は、明治42年10月に制定されました。カタカナの「フ」を9個組み合わせて、「福」を表しています。



福岡市の姉妹・友好都市



福岡市か博多市か!?

もともとは博多と呼ばれていた地に、1600年、武将・黒田長政が先祖の地であった備前(岡山)福岡にあやかって、城下町の名前を福岡としました。それ以来、中洲を流れる那珂川を境に東を博多、西を福岡と呼ぶようになりました。



明治22年(1889)4月、政府から市制と町村制の公布が行われ、新しい市名を福岡市にするのか博多市にするのかで、大論争が巻き起こりました。誇り高い武士の町・福岡と、古代から港を開き、商人の町として栄えてきた博多の地名を残す戦いです。明治23年(1890)の議会で13票対13票の同数に割れたところで、議長が副議長と交代して、再度投票をすることに。再投票の結果またも同数となり、結果として福岡市のままに。その代わり、開通したばかりの鉄道の駅名は博多駅に。

こうして、福岡市と博多駅が誕生しました。



コンビニ交付導入までの経緯①

3

福岡市で証明書が取得できるのは、

7区役所、2出張所

証明サービスコーナー（1か所） ※

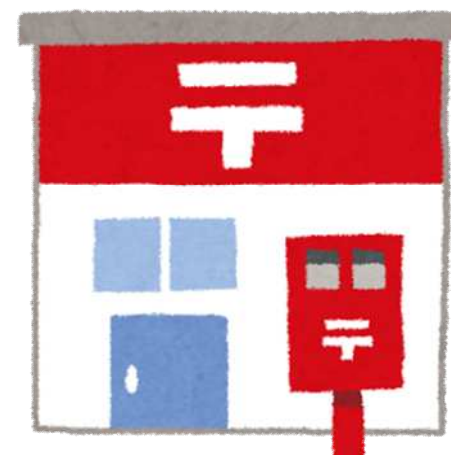
郵便局（35か所）

※平成22年当時

《現在》

証明サービスコーナー（3か所）

郵便局（34か所）



コンビニ交付導入までの経緯②

4

各政令指定都市においては、自動交付機や証明サービスコーナーの設置等を行ってきた。

★自動交付機の導入政令指定都市数

10都市／18都市

★行政窓口1か所あたりの人口

政令指定都市平均 (福岡市を除く)	52.3千人 (人口／窓口数)
福岡市 (18位／18都市)	144.8千人 (人口／窓口数)

(平成22年4月時点)

コンビニ交付導入までの経緯③

5

福岡市は他の政令指定都市と比較し、満足度は著しく低い。

平成22年度よりコンビニ交付及び自動交付機について、導入の検討を開始。

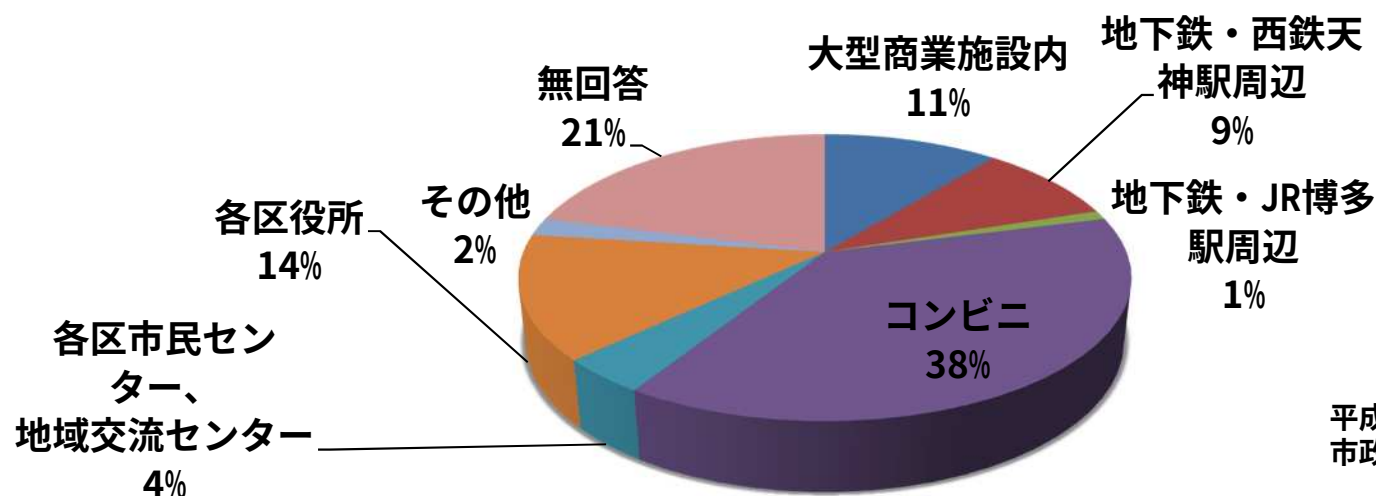


コンビニ交付導入までの経緯④

6

平成20年度市政アンケート結果において、自動交付機の設置希望調査によると、区役所よりもコンビニへの設置希望が多く、費用対効果にも優れるコンビニ交付の導入を決定。

証明書自動交付機の設置場所希望調査



平成20年度
市政アンケートより

導入スケジュール (住基カード)

7

	平成23年度									平成24年度							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全般									★住基カード利用に関する 条例制定を議会へ上程 ★印鑑条例及び手数料条例改定 を議会へ上程					★サービス開始			
契約等			★システム構築委託					★機器調達					★LASDEC協定・契約・IC カード標準システム契約				
システム構築等			★システム構築開始					★試験工程1 (庁内) ★試験工程2 (市川) ★試験工程3 (東京) ★実店舗試験					★実店舗試験				
その他				★LGWAN－SELFASP申請		★個人情報保護審議会 ★LGPKI登録申請							★歳入徴収委託の告示				

コスト (イニシャル・ランニング)

8

○初期費用 (H23決算額)

項目名称	予算
コンビニ交付システム構築費用	30,051
ICカード標準システム構築費用	6,344
既存住基システム改修費用	5,342
公開サーバ・ネットワーク費用	9,015
機器の搬入調整、電源工事など	1,444
合 計	52,197

○運用費用 (H28予算額)

項目名称	予算
ICカード標準システム保守料	978
システム運用保守費用	1,815
システム機器賃貸借費用	10,080
コンビニ交付委託手数料 (コンビニ事業者への支払)	8,610
コンビニ参加負担金 (J-LISへの負担金)	10,000
合 計	31,483

単位・千円

コンビニ交付で取得できる証明書等

9

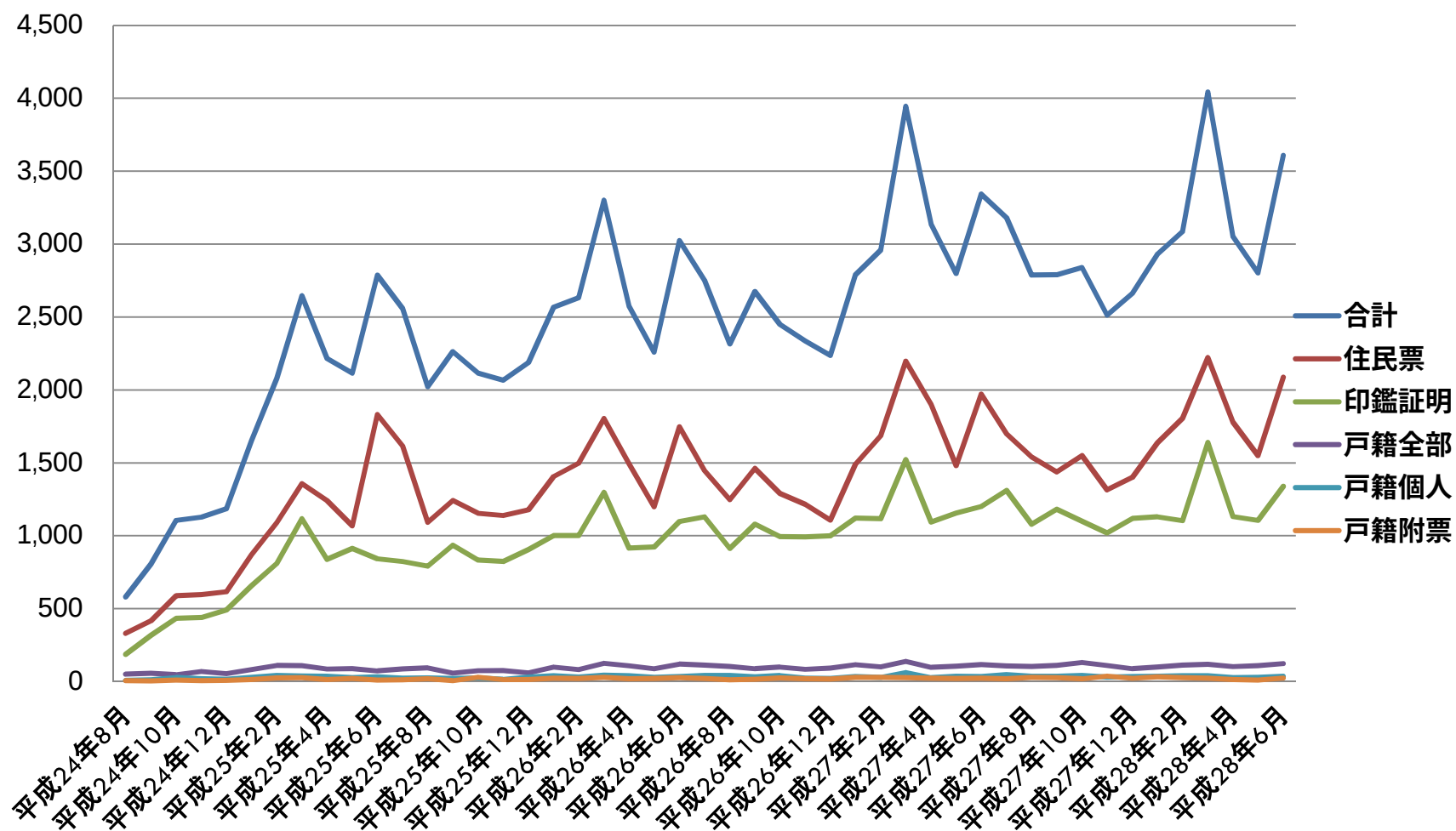
証明書の種類	時間	手数料
住民票の写し	毎日 6:30～23:00	250円
印鑑登録証明書		
戸籍全部(個人)事項証明書	平日 9:00～17:00	400円
戸籍の附票の写し		250円

※窓口の交付手数料より50円減額



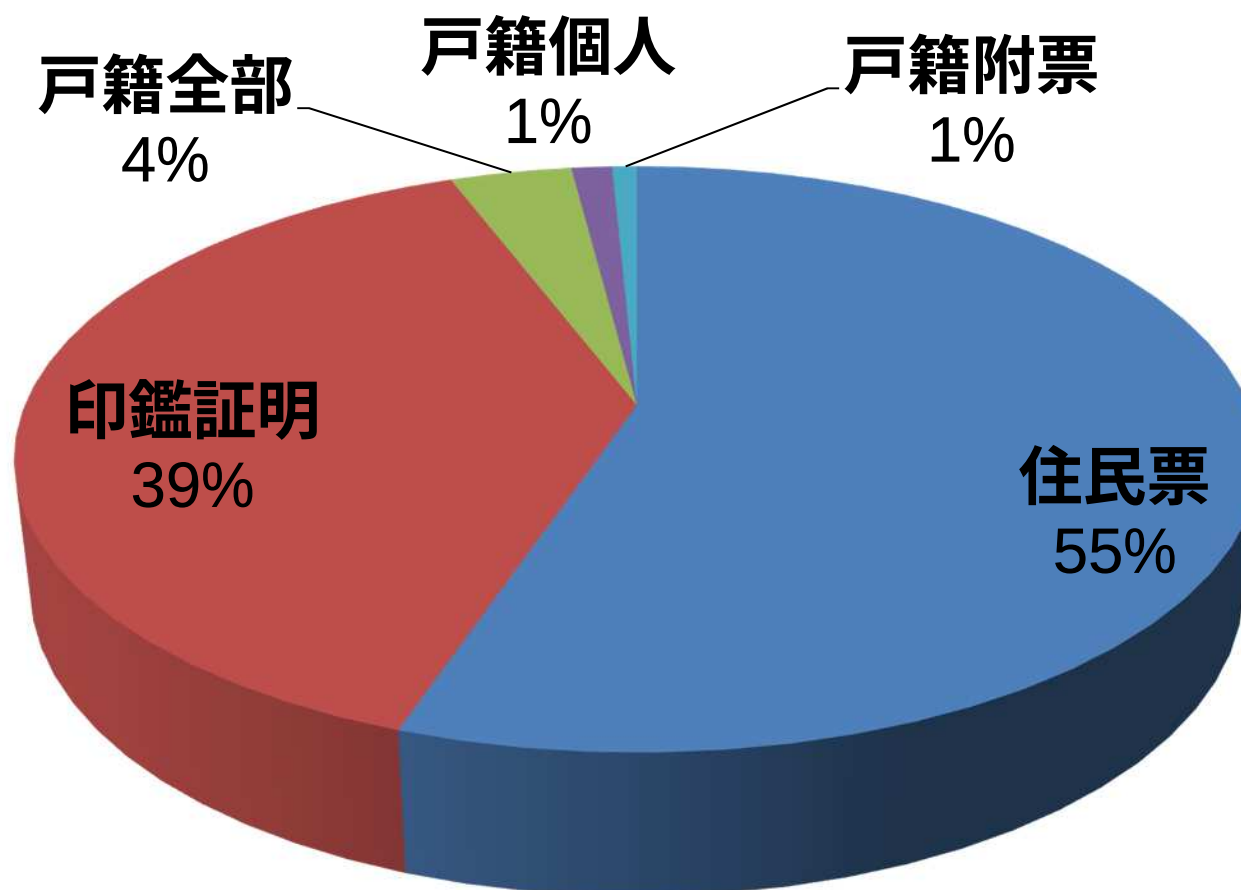
証明書発行件数

10



証明書別発行件数

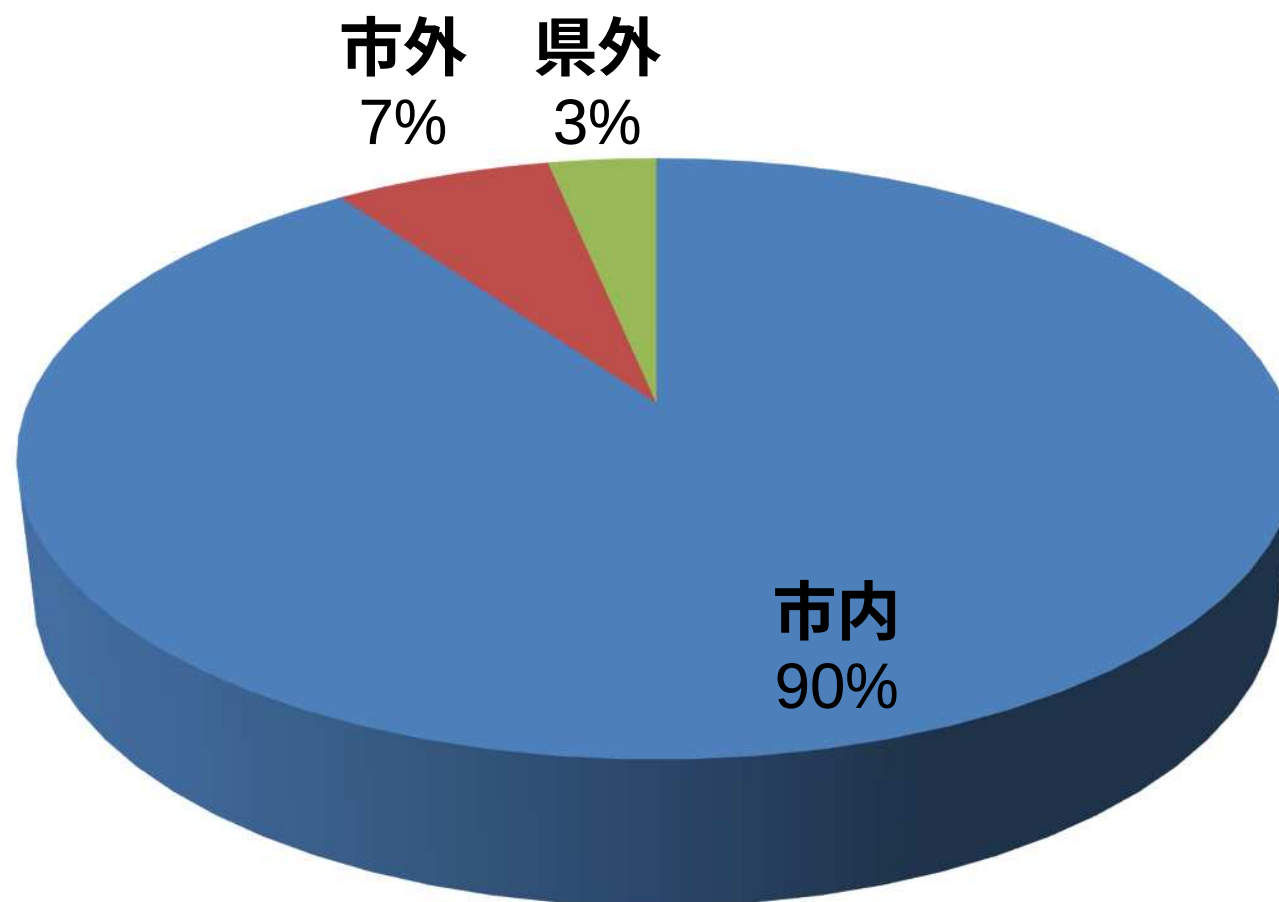
11



平成24年8月～平成28年6月

コンビニ所在地別利用者

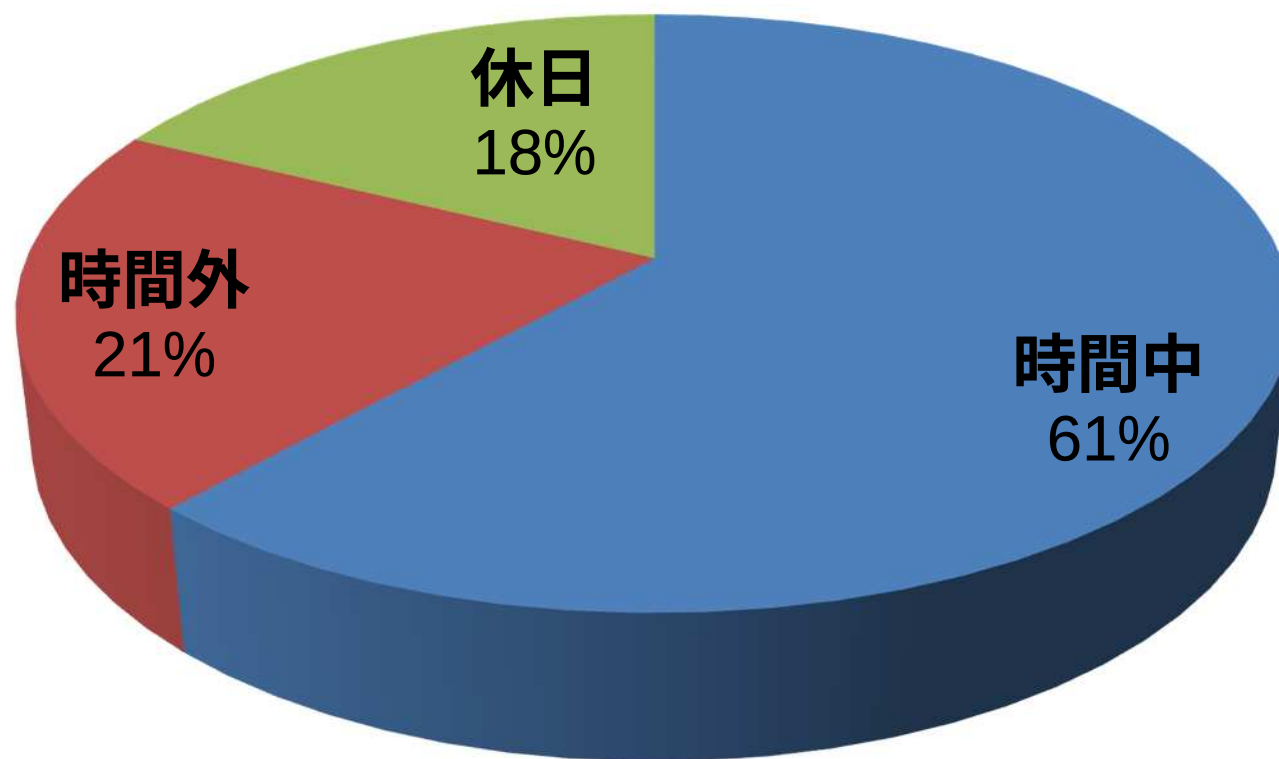
12



平成24年8月～平成28年6月

時間帯別利用者

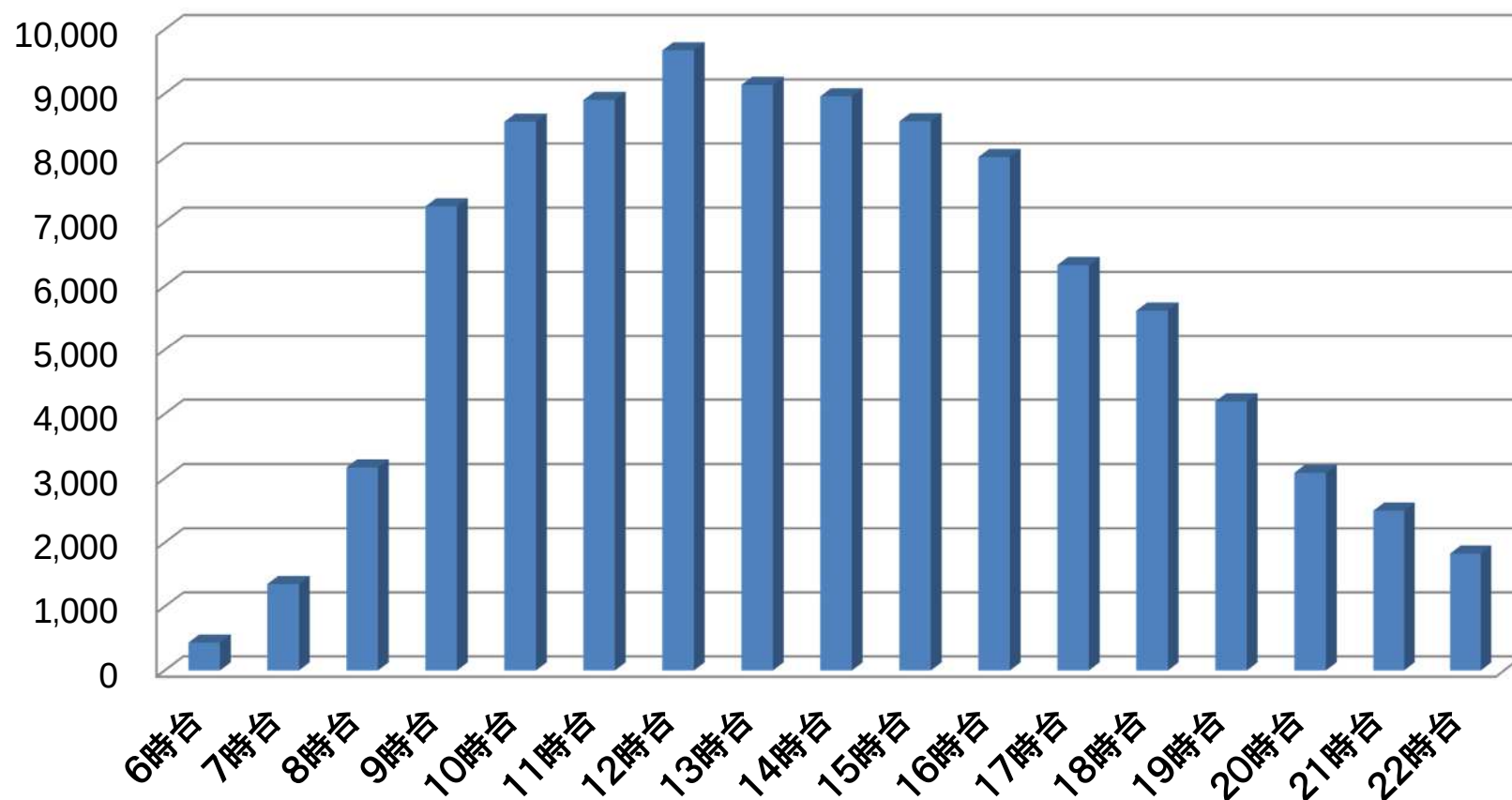
13



平成24年8月～平成28年6月

時間別利用者

14



平成24年8月～平成28年6月

福岡市独自の取り組み ①

15

平成26年6月に東区役所に、平成28年6月に千早
証明サービスコーナーにローソンのマルチコピー機
を誘致。



東区設置のコピー機

福岡市独自の取り組み②

16

平成28年6月にコンビニ交付を体験できる、「コンビニ交付デモ機」を各区役所・出張所等に設置。

使ってみよう！コンビニ交付



目 証明書交付サービス

必要な証明書を選択して「確定する」ボタンを押してください。

住民票の写し

印鑑登録証明書

戸籍証明書

戸籍の附票の写し

終了する

確定する

コンビニ交付は、マイナンバーカード（または住民基本台帳カード）を利用し、住民票の写し、印鑑登録証明書などが全国のコンビニエンスストアから取付

[デモ体験はこちら](#)

コンビニ交付の流れ

- 暗証番号を入れる
- ▼
- 証明書を選ぶ
- ▼
- 対象者を選ぶ
- ▼
- 記載内容を選ぶ
- ▼
- 部数を選ぶ
- ▼
- 手数料を入れる
- ▼
- 証明書印刷

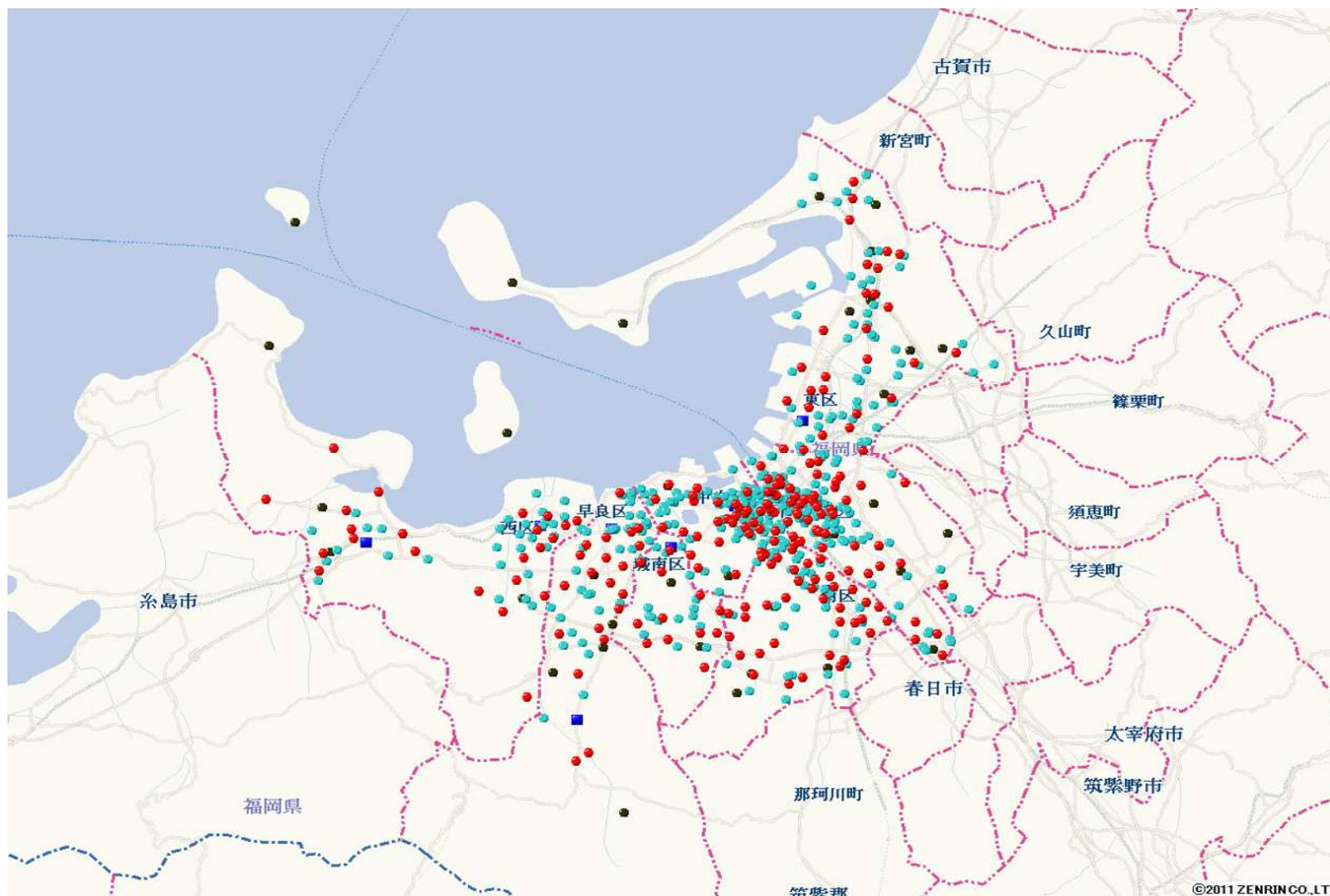
証明書交付窓口 (開始前)

17



証明書交付窓口 (現在)

18



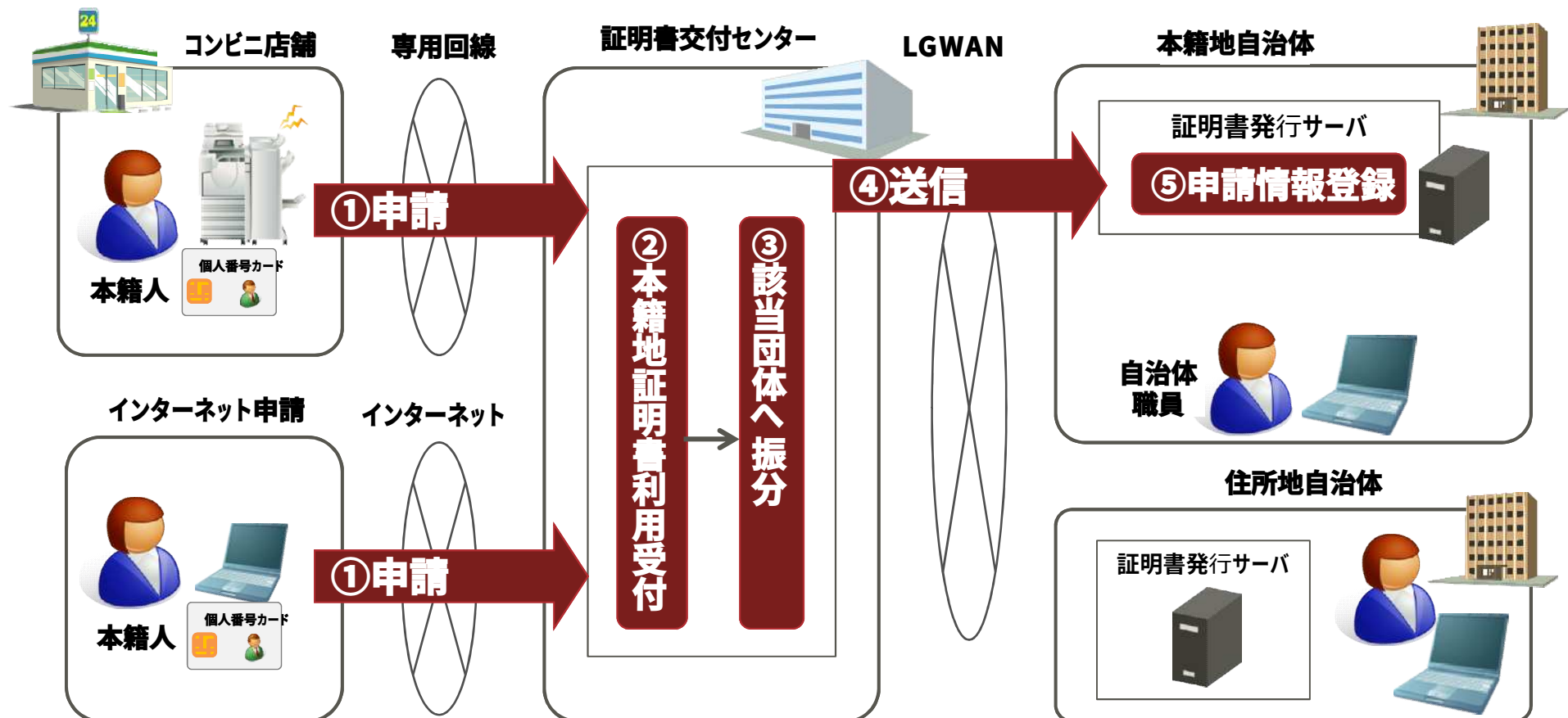
住所地と本籍地が異なる戸籍証明①

利用登録申請（Ⅰ.申請～申請情報登録）

19

本籍地での証明書交付を希望する利用者は、事前にキオスク端末経由又はインターネット経由で利用登録申請を実施する必要があります。

申請情報は本籍地自治体のコンビニ交付サーバへ送信され、自動的に申請情報が登録されます。

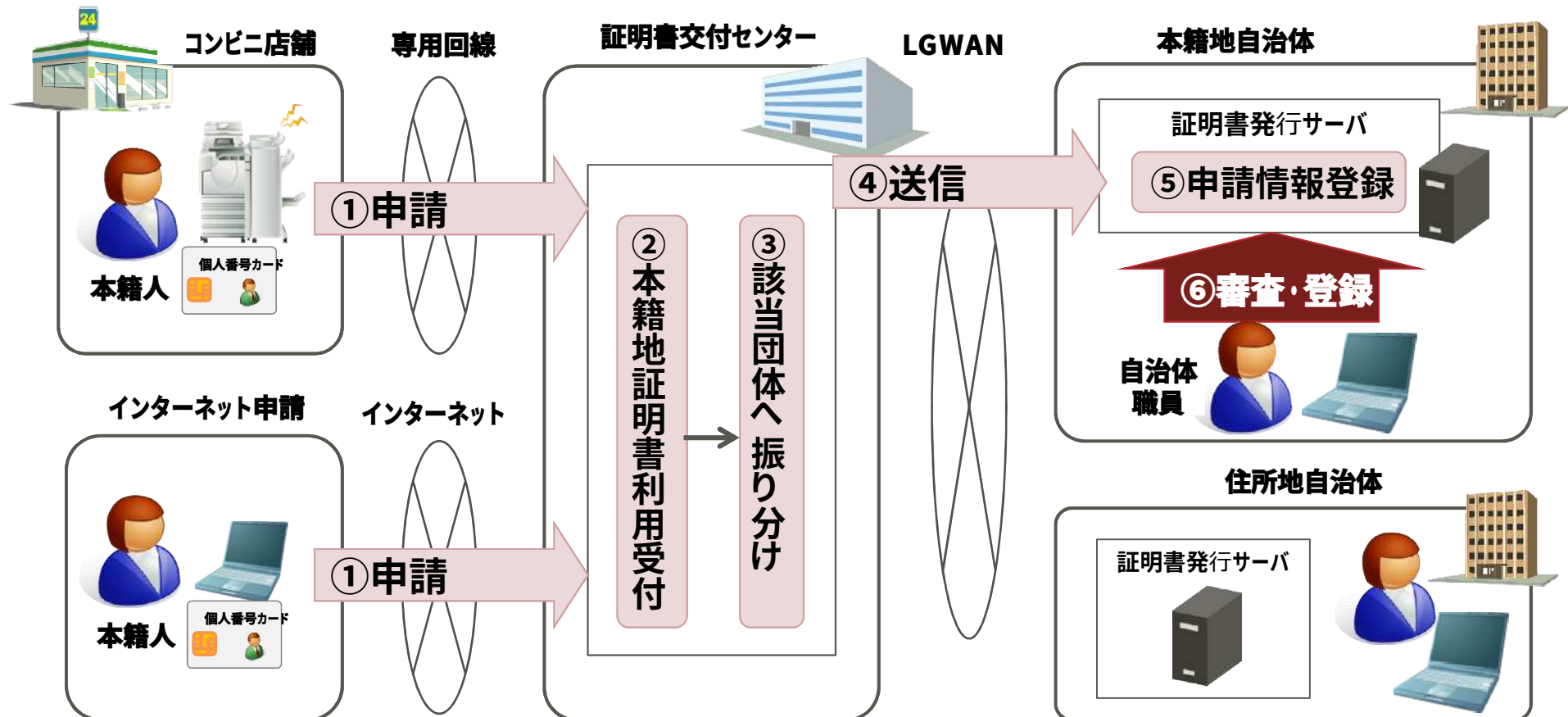


住所地と本籍地が異なる戸籍証明②

利用登録申請（Ⅱ.審査・登録）

20

受信した申請情報（申請者情報・戸籍情報・申請番号）を基に利用者を特定し、申請を受理するか判断したうえで、証明発行サーバに利用者登録を行います。（本籍地自治体職員による操作が必要。）
利用登録が完了することで、本籍地証明書の発行が可能となります。



住所地と本籍地が異なる戸籍証明③

利用登録申請 (III.利用登録状況確認)

21

利用者は、自宅などからインターネット接続端末を使用し、利用登録状況を確認することができます。
※登録状況確認には、利用登録申請完了確認 画面に表示される申請番号の入力が必要です。
※利用登録状況確認は、インターネット接続端末でのみ行えます。（キオスク端末では実施不可）

